

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	5 (7)	8
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	8 (14)	16
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	1 (2)	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	1 (3)	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	0
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	2	4

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第2週(1月8日~1月14日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6		1		1	4		
三類	0	報告なし	0							
四類	1	つつが虫病	1					1		
五類全数	4	急性脳炎	4					1	1	2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

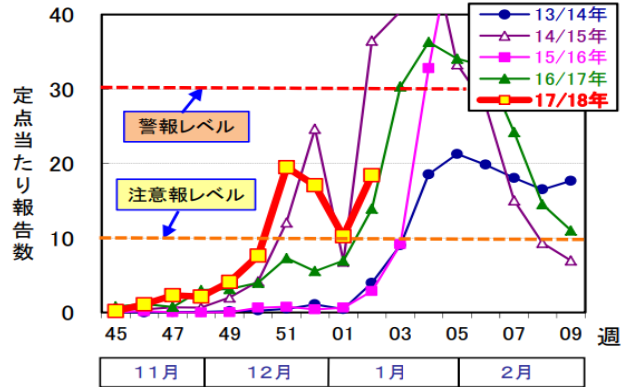
定点・全数把握疾患週報【広島市】(第2週 1/8~1/14)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点当たり18.4人と、注意報レベル(定点当たり10.0人)を超え多い状況が続いています。
 インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第2週は報告がありませんでした。
 なお、第2週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が248人、B型陽性が205人報告されており、B型の割合が増加しています。
 今後、本格的な流行が予測されるため、健康管理に十分注意し、手洗いや咳エチケットの励行など感染予防に努めましょう。

インフルエンザの流行状況



前週(2018年第1週)は、定点医療機関の年末年始休診の影響があるため、2018年第2週の各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示は、前々週(2017年第52週)との比較で行っています。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	682	18.43	12.98	→	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.79	
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.54	→	眼科	RSウイルス感染症	9	0.38	0.48	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.83	1.92	→		急性出血性結膜炎	2	0.25	0.05	
	感染性胃腸炎	139	5.79	10.94	↔	基幹	流行性角結膜炎	5	0.63	0.80	
	水痘	18	0.75	1.31	↔		細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.31	↔		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	2	0.08	0.37	↔		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.26	
	突発性発しん	6	0.25	0.36	↔		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02	↔		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	4	女性(10歳代)・推定感染地域: 国外・1人、男性(30歳代)・推定感染地域: 国外・1人、女性(40歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
4	つつが虫病	1	1	女性(70歳代)
5	急性脳炎	1	1	男性(10歳未満)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.6)	5	女	2017/12/05	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	発熱(38.8)	5	女	2017/12/06	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
流行性角結膜炎	結膜充血 濾胞性結膜炎 リンパ節腫脹	31	女	2017/12/02	結膜擦過物	アデノウイルス56型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.4) 鼻炎	0	不詳	2017/11/25	咽頭拭い液 咽頭拭い液	RSウイルス エコーウイルス6型
その他の消化器疾患	下痢 腸重積	1	男	2017/12/01	糞便	レオウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐 下痢	11	男	2017/12/11	糞便	ノロウイルスG2
その他の眼疾患	眼脂 充血 流涙	25	男	2017/07/21	結膜擦過物	アデノウイルス21型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載